

『大気電気学』

北川信一郎・河崎善一郎・三浦和彦・道本光一郎著，「イオンとエアロゾル」ほかを除夜の鐘を聞きながら分担執筆，1996年，東海大学出版会，200頁，3500円。

『大気電気学概論』

日本大気電気学会編，三浦和彦：「大イオンとエアロゾル・大気電気伝導率」ほかを分担執筆，2003年，コロナ社，238頁，3800円。

『エアロゾルの大気環境影響』

笠原三紀夫・東野 達編，三浦和彦：科研費特定領域研究の報告書で「船舶観測」を分担執筆，2007年，京都大学学術出版会，361頁，3800円。

『実験で実践する魅力ある理科教育－高校編－』

川村康文・長南幸安・秋吉博之・三浦和彦共編，「シャボン玉の中に雲粒を作る実験など」を分担執筆，2011年，オーム社，3200円。

『よみがえる富士山測候所』

土器屋由紀子・佐々木一哉編著，三浦和彦：渡辺記念会助成により「エアロゾル，新

粒子」を分担執筆，2012年，成山堂書店，180頁，1800円。

『太陽エネルギーがひらく未来』

東京理科大学出版センター編著，三浦和彦：「太陽エネルギーの気候への影響を測る」

を藤島 昭学長の旗振りで分担執筆，2012年，東京書籍，193頁，1200円。

『Linkages in Biogeochemical Cycles Between Surface Ocean and Lower Atmosphere』

Eds. M. Uematsu, A. Tsuda, Y. Yokouchi, S. Takeda, Y. Yamada and Y. Yam. K. Miura：科研

費特定領域研究で「New Particle Formation of Marine Aerosols」を分担執筆，2014年，

ERRAPUB。

『越境大気汚染の物理と化学 2訂版』

藤田慎一・三浦和彦・大河内 博・速水 洋・松田和秀・櫻井達也共著，2021(初版，

2014；改訂増補版，2017)，成山堂書店，294頁，3000円。

「東京理科大，跡見女子大，東京工大，東京女子大などで参考書に指定」

『みんなが知りたいPM2.5の疑問25』

日本エアロゾル学会，畠山史郎・三浦和彦編著，2014年，成山堂書店，160頁，1600

円。

「語呂合わせで 25 問」

『しっかり学べる基礎物理学』

川村康文監修，三浦和彦：「ノギス・マイクロメータの使い方，有効数字など」を分担

執筆，2014 年，電気書院，300 頁，2800 円。

「いまだに印税有のベストセラー」

『富士山測候所のはなし 日本一高いところにある研究施設』

佐々木一哉・片山葉子・松田千夏・土器屋由紀子共編著，三浦和彦：「微粒子が気候を

変える」を分担執筆。2022 年，成山堂書店，234 頁，2500 円。

『折節の随想—しも爺の呟き—』

下 道國著，2021 年，東洋出版，142 頁，990 円。

「黒い白鳥がいないことは証明できない！」

『空気と水と放射線—一切ろうにも切れない放射線との関係—』

下 道國著，2019 年，医療科学社，111 頁，2800 円。

「自分の体の中に放射性物質があるなんて…」

『環境科学（改訂版）』

金原粲編，下 道國ほか，2014 年，実教出版，200 頁，1800 円。

『専門家が答える暮らしの放射線 Q&A』

日本保健物理学会「暮らしの放射線 Q&A 活動委員会」委員長：伴 信彦，幹事団：

下 道國ほか，2013 年，朝日出版社，396 頁，2800 円。

「子供が頻繁に鼻血を出すのは放射線の影響でしょうか」

『放射線安全管理学（改訂版）』

西谷源展・鈴木昇一共編，下 道國ほか，2011 年，オーム社，240 頁，5000 円。

翻訳『ラドン被ばくに対する放射線防護』

ICRP Publication126 “Radiological Protection against Radon Exposure”

本間俊充監修，下 道國，2021 年，原子力規制委員会，81 頁，非売品。

『酸性雨から越境大気汚染へ』

藤田慎一著，2012 年，成山堂書店，146 頁，1800 円。

「**空が気**になる。古くて新しい環境問題」

『環境危機と現代文明』

石 弘之・沼田 真編，藤田慎一：「技術革新と環境汚染」を分担執筆，1996 年，朝倉書店，198 頁，3500 円。

「近代文明と環境／現代文明と環境／地球環境の危機と人間の生存」